

4月21日(日)  
第14回「だいこん行進」  
今から予定に入れよう!!

# 練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合  
練馬区中村北1-6-2  
東京土建練馬支部内  
電話 03-3825-7146  
fax 03-3825-7117

## 東日本大震災・福島原発事故から2年 特別企画・ドラマリーディング「空の村号」公演会

3月24日、東京土建練馬支部会館3階大研修室で、ドラマリーディング「空の村号」(第48回「斎田戯曲賞」受賞)が開催されました。公演は午前の部、午後の部の2回行なわれ、老若男女を問わず延べ180人の皆さんが、鑑賞しました。

公演は、福島県、飯館村の酪農家の家族をモチーフに、ドラマリーディング(セットも小道具もなく、役者は一人二役以上を台本を読みながら演じる)という独特なスタイルによって行なわれました。小学5年生の「空くん」を主人公にした物語は、原発の被害による悔しさや悲しみを描きながら、観た人全てに清々しい感動をもたらす空くんの成長物語です。笑って泣いて、感動し「福島で何が起きたのか?何が起きてしまったのか?」を改めて考えさせられる作品でした。公演会場はアットホームな雰囲気になり、演技者と観客が一体となったような空間を作り出



出演者とスタッフの皆さん  
交流会でのひとこま

し、大成功に終わりました。公演終了後は練馬労連事務室にて、作家の篠原さん、演出の関根さん、音楽の菊池さん、松田さん、を始め福山さん、三木さん、長谷さんなど出演者、スタッフ皆で交流会を行い、福島を決して忘れないという想いをひとつにしました。会場でのアンケートには以下のような感想が寄せられました。

●空にはやさしいところがあった(7歳男) ●夫が電気関係で働いている。いつも責められている気持ちだったが、この話には救いがある(47歳女) ●あってはならない事故なのに、政府は原発促進に向け動いている。とんでもないことです(65歳男) ●脱原発を唱えるドイツがフランスから電力を輸入している。知ってますか(48歳女) ●こわい(8歳女) ●ひじょうに良かった。笑いながら泣ける素晴らしい劇でした。皆に勧めたい!(55歳男)



パレードの様子



親子での参加者

た。笑いながら泣ける素晴らしい劇でした。皆に勧めたい!(55歳男)

東日本大震災・福島原発事故から2年を迎えた3月10日、今回が初の試みとなる、地元練馬の春日町から練馬駅前までのつじ公園まで反原発のパレードが行なわれました。企画したのは「さよなら原発練馬アクション」旬間2013実行委員会」で、練馬労連は、構成団体として実行委員会から取り組みに参加してきました。パレード開催に向け、駅頭でのビラ撒き、とりわけツイッターやフェイスブックなどのSNSを媒体とした宣伝効果が功を奏し、マイナーな場所であるにも関わらず280人を超える参加者を数えました。しかも、参加者には、労働組合や、市民団体などに全く属していない一般の方々、女性や子供の姿が目立っていました。参加者はおもいおもいのプラカードや旗を持ち、或いは、様々なコスチュームで通りを練り歩きました。パレードは約1時間で終了し、その後、参加者の一部は、日比谷公園で行なわれる、首都圏反原発連合が主催する「原発ゼロ大行動」に参加するため、息を整え、更なる闘いへと向かって行きました。

**地元で初の試み  
春日町に280人参加!!**